

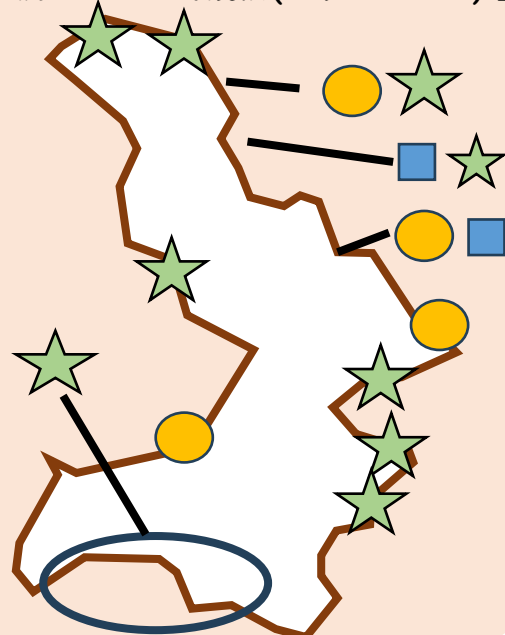
○冬場は草が枯れて防護柵の点検がしやすい時期です！
～竹田市で行った事例を紹介します～

〈作業時のポイント〉

- ・ 防護柵は一部分だけでなく、設置した**全周**をくまなく点検しましょう
- ・ 被害場所には、**目印** (色テープなど) を残しましょう！
- ・ また、被害場所を図に残しておくとうわかりやすいです！



【点検を行った防護柵(全長1360m)】



〈見られた被害を紹介します〉

- ★…防護柵下を、掘られた跡
破られた跡
- …クズの重さで防護柵が傾いた箇所
- …防護柵の扉や水路が閉じていない

○少しずつでも、出来るところから修繕しましょう！

〈防護柵の侵入口の対策〉

- ・ 侵入口はハウスパイプや竹などで塞ぎましょう
※ウリボウは、15cm程度の穴があれば侵入します隙間には注意！
- ・ 現地事例1では、侵入口を畦波シート+パイプで封鎖
→栽培期間中、修繕箇所からの侵入はみられませんでした。

〈現地事例1〉



〈傾いた防護柵への対策〉

- ・ クズなど巻き付いた雑草は、枯れる冬場に除去する
- ・ 現地事例2のように防護柵の切れた箇所は、番線などで補修

〈現地事例2〉



〈その他できる対策〉

- ・ 収穫後の電気柵は、すぐに撤去する
- ・ 餌場となるひこばえ・未収獲果樹などは減らしましょう！

獣害対策は日頃の点検・修繕が重要です！

